

**コンゴ(民)月例報告
政治関連
2018年5月**

主な出来事

- 8日、カビラ大統領は2018年の選挙人名簿に基づく議席配分法案を公布した。
- 8日、保健省は、赤道州でエボラ出血熱が発生したと発表した。その後、州都ムバンダカでも感染者が見つかった。31日までの発症数は55名。
- 11日、北キブ州のヴィルンガ国立公園で、英国人観光客2名とコンゴ(民)人運転手が何者かによって誘拐され、公園のコンゴ(民)人女性レンジャー1名が殺害された。その後13日、2名の英国人観光客とコンゴ(民)運転手1名は無事に釈放された。
- 13日、モヴァ内務・治安相が作成した政党リスト(599の政党と、77の政治プラットフォーム)が官報に掲載された。同リストでは「UDPS」の名を冠した党は4党記載された。
- 26日、シェ・オキトウンドウ外相は、マクロン仏大統領の発言に関する説明を求めるため、在コンゴ(民)の仏、アンゴラ及びブルワンダ代表を外務省に召喚した。

1. 内政

(1) 議席配分法案の公布

- ・5日、国民議会と上院の同数委員会は、議席配分法案を可決した。
- ・8日、カビラ大統領は2018年の選挙人名簿に基づく議席配分法案を公布した。

(2) 政党リスト

- ・13日、モヴァ副首相兼内務・治安相は、独立国家選挙委員会(CENI)に提出した政党リストが官報に掲載されたと発表した。今回提出されたリストには、599の政党と、77の政治プラットフォームが記載されている。「UDPS」の名を冠した党は4党(「UDPS」「UDPS Thisekedi」「UDPS Renove」「UDPS Kibassa」)記載された(14日付 Reference 等)。

(3) 小型車による民間タクシー

- ・14日、コンゴ(民)国家警察(PNC)はコミュニケで、16日から、主にトヨタ IST など、「ケッチ(注: リンガラ語でスニーカーの意)」と呼ばれる小型車による民間タクシーの営業を禁止すると発表した。これら小型車を用いた拉致や誘拐などの犯罪抑止が目的。また、それ以外の車両も、不正なナンバープレートの使用やナンバープレートの被覆は禁止となり、公共交通に使用する車両はスモークガラスが禁止される。
- ・21日、キンブタ・キンシャサ市長は、小型車による民間タクシーは、5月31日までに登録とペイント(国旗の色)を行うことで営業可能と発表した。スモークガラスの取り外しも5月31日まで猶予された。6月1日以降は取り締まりの対象となる(22日付 Radio Okapi)。

(4) 野党の動向

ア カトゥンビ元カタンガ州知事とフェリックス・チセケディ UDPS 党首の訪米

- ・21日、カトゥンビ元カタンガ州知事とフェリックス・チセケディ UDPS 党首は、23日に米シンクタンク「大西洋評議会(アトランティック・カウンシル(AC)、本部:ワシントン DC)」が主催する会議に出席するためワシントンDCに到着した。渡米前の16日には、ともにパリとブリュッセルも訪れていた(23日付 Le Potentiel)。

イ「Rassemblement(ラッサンブルマン)」カサブブ派の賢人委員会委員長交替

・29日、野党プラットフォーム「Rassemblement」反主流のカサブブ派に所属する閣僚(リサンガ国会関係相等)は、オレンゴコイ FONUS 党首(合意フォローアップ国家評議会(CNSA)議長)から、同派閥の賢人委員会委員長の地位を剥奪した。暫定的な後任委員長には、チバラ首相が指名された(31日付 L'Observateur)。

(5)独立国家選挙委員会(CENI)の動向

・25日、仏語圏(フランコフォニー)国際機関(OIF)選挙人名簿監査ミッション代表のサンガラ将軍は、6日から実施した選挙人名簿の監査結果について、「名簿は包括的、網羅的で更新がなされているが、改善の余地がある」との判断を下す報告を行った。OIF による判断を受け、ナンガー CENI 委員長は、選挙区と投票所毎の暫定選挙人名簿の印刷・配置・掲示を28日から開始すると発表した(25日付 AFP)。

2. 外交

対仏、アンゴラ及びルワンダ関係の緊張

・26日、シエ・オキトゥンドウ副首相兼外務・地域統合相は、マクロン仏大統領が23日、コンゴ(民)に関して「フランスはアンゴラ大統領との密接な関係のもと、AU 議長(カガメ大統領)によるイニシアチブを支持する」と発言した件に関する説明を求め、在コンゴ(民)の仏、アンゴラ及びルワンダ代表を外務省に召喚した。同イニシアチブはコンゴ(民)政府にとり、寝耳に水であった。

・28日、メンデ政府報道官は記者会見を行い、マクロン仏大統領がカガメ・ルワンダ大統領との会談で行った発言に関する説明を求め、「満足のいく回答が得られない場合には、それなりの対応を行う」と述べた。

・28日、マクロン大統領はパリでローレンソ大統領と会談し、今年12月23日の選挙実施を予定している政治合意(当館注:2016年12月31日の政治合意)を支持することを再確認した。しかしながらローレンソ大統領は、コンゴ(民)の内政に干渉するつもりも、カビラ大統領が大統領の座を去るべきであるというような個人的な問題を協議するつもりもなく、そのような権利もないと断言した。

3. 東部及び大湖地域情勢

(1)北キブ州の世界遺産ヴィルンガ国立公園で英国人観光客2名が誘拐・無事釈放

・11日、ヴィルンガ国立公園で、武装した何者かが公園の車両を攻撃し、英国人観光客2名とコンゴ(民)人運転手が何者かによって誘拐され、公園のコンゴ(民)人女性レンジャー1名が殺害された。

・13日、ジョンソン英外相はコミュニケで、ヴィルンガ国立公園で11日に誘拐された2名の英国人観光客とコンゴ(民)運転手1名が無事に釈放されたと発表した。

(2)元 ADF トップのムクル指揮官に対する裁判の開始

・14日、カンパラで、元 ADF(民主同盟軍、ウガンダ系反政府武装勢力)トップで、2015年にタンザニアから送還されたムクル指揮官(Jamil Mukulu)の人道に対する罪に関する裁判が開始された(14日付 AFP)。

(3)MONUSCO 軍兵士2名が行方不明

・14日、マーシャル MONUSCO 報道官は、11日、タンガニーカ州で、PKO 部隊のコンボイがマイマイ(自警団的な性格をもった武装集団)の攻撃を受け、2名のベナン国籍兵士が行方不明となったと述べた(14日付 AFP)。

・16日、同報道官は、行方不明となっていた2名のベナン国籍 PKO 兵士が無事発見されたと発

表した(16日付 AFP)。これら兵士は敵前逃亡していたとの情報もある。

(4)北キブ州ベニ地区で ADF と見られる武装集団が市民10名を殺害

- ・20日夜～21日、北キブ州ベニ地区ムバウ(Mbau)で、ADF とみられる武装集団が村を襲い、市民10名を射殺、2名に怪我を負わせたと、ベニ地区長が AFP に語った(21日付 AFP)。
- ・25日、ハズカイ・コンゴ(民)国軍(FARDC)報道官は、ベニ地区における対 ADF 作戦で、FARDC 兵士5名が死亡、13名が負傷したと発表した。同日午前、地元当局は、14名の ADF とみられる武装勢力の遺体をベニ市役所に陳列した(25日付 AFP)。

(5)北キブ州のヴィルンガ国立公園でコンボイが襲撃され3名死亡

- ・21日、ヴィルンガ国立公園で、大型車2台とバイク21台のコンボイが武装した何者かに襲撃され、バイクで護衛していた軍人2名と民間人1名が死亡した(21日付 AFP)。

(6)北キブ州ルチュル地区での身代金目的の誘拐

- ・北キブ州ルチュル地区(ゴマ市の北約75キロ)では、25日から30日までの間に、身代金目的の誘拐が20件発生した(30日付 AFP)。

4. その他地域情勢

(1)中央カサイ州で住民4～8名が斬首される

- ・10日、中央カサイ州カナンガ市の東45キロにあるムロンベラ地区で、伝統的首長一家4名の斬首体が発見され、被害者の側近のひとりには、「民兵」による犯行と非難した。一方で、軍関係者によると、斬首された被害者は8名にのぼる(11日付 AFP)。

(2)赤道州ピコロでエボラ出血熱の発生

- ・8日、保健省は、赤道州ピコロ保健ゾーンで、エボラ出血熱が発生したと発表した。またその後、州都ムバンダカでも感染者がみつかった。
- ・31日までの同地区におけるエボラ出血熱による発症数は55名。

(3)中央カサイ州ムウェカの部族紛争で7名が殺害、11名が負傷

- ・20日～21日、中央カサイ州ムウェカ(Mweka)地区(カナンガ市の北220キロ)で、伝統的首長のカランバ・ディロンド(Kalamba Dilondo)に近い武装集団がマトポロ(Matopolo)村を襲撃し、7名を殺害、11名に怪我を負わせたとムウェカ地区長が AFP に伝えた。襲撃を受けたのは、伝統的首長のシャコベ(Justin Shakobe)に従属するムピアン(Mpiang)コミュニティの人々である。軍関係者は匿名で、襲撃を行ったのは、カランバ・ディロンド首長に近いケテ(Kete)コミュニティの人々であると語った。(21日付 AFP)。

(4)チュアパ州モンボヨ川で小型船が転覆し50名以上が死亡

- ・23日～24日、チュアパ州(旧赤道州)モンコト地区のモンボヨ側で小型船が転覆し、50名以上が死亡したと、ムボヨ・チュアパ副州知事が AFP に語った。現場はチュアパ州に隣接する赤道州の州都ムバンダカから750キロの地点(25日付 AFP)。

5. その他

(1)公共交通の値上げに対する学生の抗議行動で14名が逮捕

- ・10日、1週間前に民間公共交通(ミニバス及びタクシー)の運賃がこれまでの500コンゴ・フランから700コンゴ・フランに値上げされたこと等に対し、学生(UNIKIN、ISTA、INBTP 等)が抗議行動を行った。また抗議行動に参加した学生のうち14名が逮捕された(10日付 AFP)。

(2) 人権活動家ロッシー・ムケンディ氏の葬儀

・18日、カトリック非聖職者調整委員会 (CLC) が2月25日に呼びかけた平和的デモ行進で犠牲となったロッシー・ムケンディ氏 (Rossey Mukendi) の遺体がキンシャサ総合病院の遺体安置所から ASANEF (11月24日通りの葬儀場) に移され、通夜が行われた。19日は午前11時からノートルダム大聖堂で追悼ミサが行われ、その後、ンセレの墓地に埋葬された。ムケンディ氏の死因は警官の射撃によるもので、警察はゴム弾と主張し、市民社会は実弾と反論しており、2月25日の殺害以降、遺体の引渡し等でもめていた。

(3) 民間タクシーのストライキ

・21日、民間タクシーの運転手は、キンブタ・キンシャサ市長が市内公共交通の料金値上げ (500コンゴ・フランから700コンゴ・フラン) を無効にするとテレビで発言したことに反発してストライキを行い、早朝の市民の足に混乱が生じた。